

農林水産省 食と農林漁業の再生推進本部
市町村長との意見交換会 議事次第

日 時 : 平成23年1月18日(火)
16時30分～18時
場 所 : 農林水産省 第三特別会議室

- 1 開会
- 2 市町村長からの意見表明
- 3 意見交換
- 4 閉会

【配布資料一覧】

資 料 1	福島県飯舘村	菅野 典雄	村長	提出資料
資 料 2	愛知県田原市	鈴木 克幸	市長	提出資料

参考資料1 食と農林漁業の再生推進本部の設置等について
参考資料2 農林水産業の現状について

飯舘村の6次産業とは

農産物を生産から販売・加工までを一貫して行うことで付加価値を高めた販売を行うこと

1. 安全安心な農産物を生産し、市場を通して出荷する
2. 契約栽培により市況に左右されない農業経営の安定を図る
3. 農産物を加工したり、産直により付加価値を高めた販売を行う。

JA流通100%⇒1／3ずつの販売へ

1

6次産業化推進計画（報告書より・まとめ）

- **短期目標** 契約栽培により原料を生産出荷
加工生産の基盤をつくる
ジャガイモ・タマネギの契約栽培
- **中期目標** 協力企業と共同でスープ等の
試作を行う
(株)久世との産品開発研究
- **長期目標** 販売先を踏まえた加工施設の
建設

2

契約栽培による遊休地活用

ジャガイモ契約栽培
福相農園



3

久世までいファームの取り組み

久世フレッシュワンと
提携し新鮮な野菜を
首都圏レストランへ



4

県内・総合

生徒の農作業協力協定締結

飯館村と目黒学院中・高(東京)



協定書に調印し握手する菅野村長(左)と関口校長

飯館村と東京都の私立目黒学院中・高校は二日、生徒が同村で農作業を体験する相互友好協力協定を締結した。締結式は同校で行われ、菅野典雄村長、関口隆司理事長・校長が協定書に調印した。并当にお菓子を入れる生徒がいるなど生活の乱れを感じた関口校長が「農業を体感する食育が必要で、生

きる力をつけさせたい」との思いで企画した。同校は試行として七月に中学生三十人が二泊三日で植林などを体験。高校生十人は八月に一週間、小宮地区に民泊してジャガイモの収穫を手伝い、賃金を費用の一部に充てた。

協定は、食や命の大切さを学び、豊かな人間性を育む取り組みで

連携する内容。同校は来年度からカリキュラムに取り入れ、中学は約七十人が水稻の田植え、除草、収穫の三回、学年別に村を訪れる。高校生は選択科目として約一週間の農作業のキャリアゼミを行う。村は子どもたちの交流、父母の受け入れなどが進むものと期待しており、小宮地区を中心に、来年のプログラムを検討を進める。菅野村長は「村のいいところは自分では分からない。都会との交流で見えてくるはず。都会の子どもには豊かな農村環境を体感してほしい」と話している。

東京の中高生さん

飯館で農林体験どうぞ

飯館村は二日、東京都目黒区の学校法人目黒学院で、子どもたちの「生きる力」を育む目的に同校と相互友好協力協定を結んだ、と発表した。都会の中高生の村内での農林業体験などを通じて、双方の子どもたちの学ぶ意欲や自立心を養うなど5項目について協力する。

同校は渋谷近くにある中高の男子校。来年度から共学となる。将来、田舎暮らしをするため5年前、村に農地と農家を購入した同校事務長の佐藤公俊さん(57)が、都市と農

村が目黒学院と協定



村の交流を取り持った。同校の高校2年生の授業には様々な仕事を体験する「キャリアゼミ」があり、佐藤さん

地元の子とも交流

んが自分の農地を使った農業体験を提案。これに中学生が加わる形で今夏には計約40人が村を訪れ、村民の協力で田んぼの草取りや苗木の植林などをした。

村によると、村の子どもたちも参加する形で今後も交流を継続するため、今回の協定調印となったという。村は昨年からは目黒区の商工まつりに飯館牛の串焼きなどで参加しており、今後、同区との交流も深めたい考えだ。

相互友好協力協定書に調印した菅野典雄村長(左)と目黒学院の関口隆司理事長。二日、東京都目黒区中目黒の目黒学院(飯館村提供)



自然、景観いつまでも

飯館、北塩原両村長誓う

日本で最も美しい村連合大会



「世界で最も美しい村」連合会への加盟を祝ったセレモニー

岐阜県白川村で二十七日に開かれたNPO「日本で最も美しい村」連合の五周年記念大会では新規加盟町

津修司熊本県南小国町長が菅野典雄飯館村長、小椋敏一北塩原村長、小椋敏一北塩原村長らに認定書とサッシュ（肩帯を手渡した。菅野村長は「総合力

世界連合会加盟 認められ式典

NPO法人「日本で最も美しい村」連合は「世界で最も美しい村」連合会への加盟が認められ、二十七日、白川郷の合掌造り民家園で加盟セレモニーを催した。新規加盟した飯館村の菅野典雄村長と北塩原村の小椋敏一村長も出席した。

の地域ブランドをつくらせていきたい。今後は何らかの景観条例の制定を検討し、住民とともに意識を高めていきたい」と語った。

小椋村長は「地域資源に磨きをかけ、地域と一体となった村づくりを進めていきたい。景観条例など観光振興に必要なことも考えていきたい」と述べた。

会長の松尾雅彦カルビ「相談役は「福島県は森や水の文化に恵まれている。美しい村として地域の価値を高め、ほっとする」村づくりを進めてほしい」とエールを送った。飯館、北塩原両村は今年三月に加盟を申請し、七月の現地審査を経て八月に内定を受けていた。

飯館村は荒れた放牧道を再生した「前田観落文化」が認められた。北塩原村は、美しい自然景観を生かした農業と観光が一体となったツーリズムを展開する「裏磐梯・早稲沢地区の高原野菜が広がる農村風景」「旧米沢街道に眠る歴史資源と集落文化」が認められた。



新規加盟した飯館村の菅野村長（左）と北塩原村の小椋村長

「日本で最も美しい村」連合

飯館、北塩原が加盟

NPO法人「日本で最も美しい村」連合への新規加盟の内定を受けていた飯館、北塩原両村は二十七日、同連合へ正式に加盟した。

七年に七町村で設立。豊かな自然や郷土文化といった地域資源があるなどの条件を満たす自治体や地域の参加を募っている。今回新たに本県の二村を含め六町村が加盟し、全国で三十九の町村・地域の構成となった。

岐阜県白川村の世界遺産・白川郷で開かれた五周年記念大会での臨時総会で承認され、菅町の呼び掛けで平成十

新たに加盟した「最も美しい村」

- 34** 福島県 飯館村 (いいたてむら)
35 福島県 北楯原村 (きたしおばらむら)
36 長野県 高山村 (たかやまむら)
37 奈良県 十津川村 (とつかわむら)
38 鳥取県 智頭町 (ちづちょう)
39 沖縄県 多良間村 (たらまそん)

